

歴史探訪

クラブ

其の
89



History Inquiry Club

文化振興課 ☎23局3635
FAX 22局3811

児童の手に成る昭和渥美風土記

前回に続き、またも古い本を手にとってみました。その本は『半島渥美』という名で、昭和16年に渥美郡国民教育報国会から発刊されました。当時の国民学校の児童（現在の小1〜中2までの年齢）が渥美半島のことをまとめた内容となっています。

この年の12月、日本軍は真珠湾の攻撃を行い、日本はいまわしい戦争の時代へと突入していきました。『半島渥美』の文章は、まだ児童にまで軍事政策が浸透していなかったのか、

児童が執筆したためなのか、あまり戦争色は強くありません。時折見える「皇国」という言葉や、「丁度兵隊検査がすんで甲種に合格したようなものです。」という喜びの表現が、やがてくる戦争の時代を予感させます。大人が書いた序文には「私ども半島渥美を愛することは、やがて祖国日本を愛する心に通ずる」と記され、また、「愛国心を培ひ、皇国民たるの魂の錬成を祈念して、ここには戦争の臭いがします。」という表現



▲児童が描いた挿絵



▲半島渥美

私がこの本を紹介したいのは、「いはば『児童の手に成る昭和渥美風土記』である」という文に感動したからです。当時の児童たちが、ふるさととの文化や歴史、産業について、彼らの目線で感じたことを書き綴ることはとてもすばらしいことです。そればかりでなく、当時、どのような偉人が顕彰されていたのか、どのような産業が盛んであったのかなど、今では渥美半島の普通の姿を伝える貴重な資料となっているからです。

さて、次にこの本に紹介されている、各地の事柄をご紹介します。当時は豊橋の一部も渥美郡でしたが、田原市関係分のみ掲載します。
 《杉山村（相川町）》 神の釜、長仙寺
 《神戸村》 神戸の寝祭、煙草栽培、おくり神、漁と信心
 《田原町》 東部産業組合、セメント工場、金海銀山、八人塚、長興寺、大

場民平翁の碑、大洲崎、姫島、田原案内、矢崎（吉胡）貝塚、池の原公園、報民倉、霊巖寺、田原の鮎、田原の市
 《野田村》 渥美に誇る芦ヶ池、俳句
 《赤羽根町》 一色の磯、更生の我郷、村の網、竹柏の樹、地曳網、常春の里、大山、防波堤

《伊良湖町》 鯛釣、夕の田の井戸、糟谷磯丸、伊良湖神社
 《福江町》 こうなご漁、松露、田戸神社、中山義民伝、水難救護所、貝塚、俳人杜国、福江港、港、泉福寺、絹神様のお祭、青葉の金刀比羅さん
 《泉村》 鸚鵡石、立切網、江比間海岸、水産実験所、海苔取り
 ・ ・ ・ つづく (増山)

▼文化振興課
 ☎23局3635 FAX 22局3811

今月の「表紙」

▼皆さんの夏の思い出にはどんなことがありましたか？クワガタ採りや花火、旅行や人との出会いなどなど。思い出って、しばらくしてから良さが分かる、後からついてくるようなものかもしれませんね。今年の夏、皆さんにとって楽しい思い出がたくさん出来ますように。(O)

【表紙の写真】サンテパルクたはら「ヒマワリの迷路」